

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗1266	596	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 34	41	ヘルパンギーナ	↗ 2	1
咽頭結膜熱	↘ 26	37	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↘ 8	24
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↗116	57	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗652	640	流行性角結膜炎 (はやり目)	↗ 24	20
水痘	↘ 79	119	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 45	37	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 1	2	マイコプラズマ肺炎	→ 5	5
突発性発しん	↗ 42	31	クラミジア肺炎	↗ 2	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- インフルエンザは、報告数1,266件(前週報告数596件)と増加。地区別では、天草、宇城、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の198件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数652件(前週報告数640件)とやや増加。地区別では、山鹿、人吉、菊池に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の94件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数116件(前週報告数57件)と増加。地区別では、水俣、菊池、人吉に多く報告がみられます。年齢別では5歳の20件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	267	12	13	45	137	19	1		10			2		21			4	2
山鹿保健所	80				77	1	1		6				*	*				
菊池保健所	147	6	8	29	101	9	2	1	8		1			2				
阿蘇保健所	33			5	20								*	*				
御船保健所	41				21								*	*				
八代保健所	104	2		2	26	14	3					1						
水俣保健所	8	3		17	2	4			2				*	*				
人吉保健所	29	2		9	69	3			6				*	*				
有明保健所	178	2		4	91	12	23		5									
宇城保健所	162	4	4	4	59	7	3		4		1	2	*	*				
天草保健所	217	3	1	1	49	10	12		1			3		1			1	
計	1266	34	26	116	652	79	45	1	42	0	2	8	0	24	0	0	5	2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳 以上
インフルエンザ	1266	8	20	62	57	61	63	74	45	42	46	50	198	83	87	111	90	70	43	36	20
小児科定点年齢	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	34	8	6	14	4	1	1														
咽頭結膜熱	26		4	6	4	3	5	1			1		1		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116		1	12	6	12	18	20	14	8	4		17		4						
感染性胃腸炎	652	5	43	94	66	45	43	37	35	26	35	27	92	26	78						
水痘	79	2	10	22	21	12	2	2	3	2		1	1		1						
手足口病	45		5	28	7	5															
伝染性紅斑	1		1																		
突発性発しん	42	1	21	17	2	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	2			1	1																
流行性耳下腺炎	8			3	2		1			1			1								
眼科定点年齢区分	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	24						1							2	2	8	5	4			2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	5			2	1	1												1			
クラミジア肺炎	2			2																	

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- インフルエンザ:天草
- 感染性胃腸炎:山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱:菊池
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:水俣

**インフルエンザ
注意報レベル超え!!
感染性胃腸炎
引き続き注意!!**



【インフルエンザが注意報レベルを超えました】
今週のインフルエンザの報告数は、1,266件で、注意報レベルを超えました。地域別では天草が最も報告が多く、警報基準値を超えています。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。小児や高齢者では肺炎や脳症などを併発して重症になる場合もあります。

- ◆インフルエンザを予防するために
 - ①手洗い・うがいを習慣づける
 - ②流行時には人混みを避ける
 - ③栄養、休養、睡眠を十分に取る
 - ④部屋の換気と保湿に心がける
- ◆インフルエンザにかかったら
 - ①早めに医療機関を受診し治療を受ける
 - ②学校や職場へは無理して行かない
 - ③水分を十分に補給する
 - ④咳エチケットを心がけ、外出を控える

【感染性胃腸炎、引き続き注意が必要です】
今週の感染性胃腸炎の報告数は、前週からやや増加しました。地域別では、山鹿・菊池・人吉が引き続き注意が必要です。ノロウイルスは感染力が極めて強いので、医療機関や福祉施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、しっかり感染予防に努めてください。